科目名	母性看護学演習ⅡＢ Maternity Nursing Seminar ⅡＢ	担当教員 （研究室番号）	大平 肇子（104） 朝倉 徹夫（非常勤） 佐々木直哉（非常勤） 橋詰令太朗（非常勤） 森實かおり（非常勤）	教員への連絡方法 （メールアドレス）	

履修年次	1年次 前期	科目区分	専門科目	選択区分	コース必修	単位数（時間）	2(30)	授業形態	演習	科目等履修生	否
										遠隔授業	否

科目目的	周産期医療、新生児医療の場における看護の実際を学び、周産期にある母子とその家族のプライマリーケアとクリティカルケアの観点から、リスクマネジメントとケアの質保証、医療ケアチームにおける連携・協働、倫理的問題の判断やその解決の方略について探究する。	
ディプロマ・ポリシー（DP）	主要なDP	７．看護学の特定分野における卓越した看護実践能力を修得している。
	関連するDP	２．豊かな人間性と倫理観を身につけ、看護専門職としてリーダー的役割が担える指導力やマネジメント力を身につけている。
到達目標	１．周産期医療、新生児医療の場における看護の実際を学び、周産期にある母子とその家族のプライマリーケアとクリティカルケアについて考察することができる。 ２．周産期医療、新生児医療の場における看護の実際を学び、周産期におけるリスクマネジメントとケアの質保証について考察することができる。 ３．周産期医療、新生児医療の場における看護の実際を学び、医療ケアチームにおける連携・協働、倫理的調整のあり方について考察することができる。	
成績評価方法（基準）	レポート（50点）、プレゼンテーション（40点）、ディスカッションへの参加状況（10点）	
教科書	必要時、紹介します。	
参考書等	必要時、紹介します。	
受講者へのメッセージ	主体的・積極的な取り組みを期待します。	
備考		

回	学習項目	学習内容	主担当教員	授業方法
１回	オリエンテーション 学習内容・方法、到達目標の理解	科目目的、到達目標、学習内容・方法を理解する。 ・今後のスケジュール、学習方法について ・課題学習について	大平	対面（講義）
２回	プライマリーケアを受ける周産期の母子とその家族への援助方法①	周産期ケアシステムとその組織化、周産期の母子をまもる保健政策・母子保健行政を踏まえ、プライマリーケアの現状を分析し課題を見出す。	大平	対面（演習）
３回	プライマリーケアを受ける周産期の母子とその家族への援助方法②	周産期における一貫した母子とその家族へのプライマリーケアについて学び、臨床で体験した事例をとりあげ、プライマリーケアの観点から各種理論を活用した援助方法を検討する。 ・健康診査場面での母子と家族への継続ケア、産後ケア	大平	対面（演習）
４回	医療ケアチームにおける連携・協働、倫理的調整①	臨地での演習に向け、NICU・GCUでのクリティカルケアを担う医療ケアチームの連携・協働、倫理的調整について検討するうえでの自己の学習課題を明確にする。	大平	対面（演習）
５回	医療ケアチームにおける連携・協働、倫理的調整②	【臨地での演習❶】施設や医療場面の見学をとおして、NICU・GCUでのクリティカルケアを担う医療ケアチームにおける連携・協働、倫理的調整について学ぶ。 ・チームカンファレンスへの参加とディスカッションによるフィードバック、倫理的調整の実例紹介	佐々木	対面（演習）
６回	医療ケアチームにおける連携・協働、倫理的調整③	【臨地での演習❷】施設や医療場面の見学をとおして、NICU・GCUでのクリティカルケアを担う医療ケアチームにおける連携・協働、倫理的調整について学ぶ。 ・チームカンファレンスへの参加とディスカッションによるフィードバック、倫理的調整の実例紹介	佐々木	対面（演習）
７回	周産期における母子とその家族へのグリーフケア①	周産期の死の特徴を理解し、死産・流産等を体験した女性のグリーフとケアについて学ぶ。 ・手段的ケア、ナラティブアプローチ	大平	対面（演習）
８回	周産期における母子とその家族へのグリーフケア②	母性看護専門看護師の体験事例をもとに、死産・流産等を体験した女性のグリーフとケアについて学ぶ。	森實	対面（演習）
９回	周産期における母子とその家族へのグリーフケア③	臨床遺伝専門医による遺伝相談（遺伝カウンセリング）の体験事例をもとに、周産期にある母子とその家族へのグリーフケアについて検討する。	橋詰	対面（演習）
10回	周産期における母子とその家族のケアへのエビデンスの適用とケアの質保証①	プライマリーケアの観点から、周産期医療におけるエビデンスの蓄積やガイドラインについて学び、周産期におけるリスクマネジメントとケアの質保証について理解を深める。	大平	対面（演習）
11回	周産期における母子とその家族のケアへのエビデンスの適用とケアの質保証②	プライマリーケアの観点から、母性看護専門看護師の体験事例をもとに、周産期におけるリスクマネジメントとケアの質保証について検討する。	森實	対面（演習）
12回	周産期における母子とその家族のケアへのエビデンスの適用とケアの質保証③	クリティカルケアの観点から、周産期医療におけるエビデンスの蓄積やガイドラインについて学び、周産期におけるリスクマネジメントとケアの質保証について理解を深める。	朝倉	対面（演習）
13回	周産期における母子とその家族のケアへのエビデンスの適用とケアの質保証④	クリティカルケアの観点から、母性看護専門看護師の体験事例をもとに、周産期におけるリスクマネジメントとケアの質保証について検討する。	森實	対面（演習）
14回	周産期における倫理的問題の判断と解決の方略	プライマリーケアおよびクリティカルケアの観点から、周産期における倫理的問題の判断やそれらの解決のための方略について検討する。	大平	対面（演習）
15回	まとめ	プライマリーケアおよびクリティカルケアの観点から、周産期にある母子とその家族への医療・援助方法における課題についてまとめ焦点化する。	大平	対面（演習）